

砂田弘行さん 埼玉県文化ともしび賞受賞！

文団連加盟の「狭山少年少女合唱団」の指導者で、本会の理事・監査の砂田弘行さんが、平成17年度の埼玉県「文化ともしび賞」を受賞されました。

文化ともしび賞は、地道な文化活動を続けている個人や団体を広く顕彰することを目的とした埼玉県の賞で、5年以上地元で地道に活動してるアマチュアの団体に送られます。今年度、狭山市からは「下諏訪囃子連」（伝統文化）と、砂田さん（芸術文化）の団体と個人が受賞されました。ここに受賞を祝し、紹介いたします。（広報委員会）

----- さやま・文化の息吹 -----

狭山香道倶楽部

代表 山本 文江

狭山香道倶楽部は、月に一度、柏原公民館でお稽古をしております。

今年度も発表の機会をたくさんいただき、大変ありがたく存じております。1月の博物館での催しには、100名以上の参加がありました。狭山市民の文化芸術への関心の高さをあらためて知ることとなりました。熱心な質問も数多くいただき、時間が足りないほどでした。博物館のスタッフの方々の温かいご協力・ご尽力もあり、参加の皆様には香りを通じて「源氏物語」「枕草子」の世界に、またひとつ違った親しみや楽しさを感じていただけたものと思っております。

今月行われました柏原公民館での文化祭では、木曾義仲の子、義高が散ったという縁ある地、この狭山市内にある「清水八幡」「影隠地蔵」を紹介することができました。狭山にはたくさんの史跡があり、お稽古を通じて歴史あるこの土地の素晴らしさと奥深さに驚きました。

これからも微力ではありますが、一人でも多くの方に香道の楽しさをお伝えできるよう活動して参りたいと思っております。

来春の芸術祭では『曲水の宴』にちなんだ盤を用いた楽しい香席を予定しておりますので、どうぞ皆様お越しください。



いけばな子ども教室「感性を育てる」

10月29日、30日の二日間にわたり、市民会館で狭山市華道連盟、市民文化祭「いけばな展」が行われました。今年は「伝統文化子ども教室」に参加の8人の子ども達も参加となり、日頃培ってきた感性を発揮する場面に出会えました。

先生方もいけばな体験の時は子ども達と会話をはずませ、「どんな型でいけようか」などと相談しながら和気藹々の中で時間が過ぎました。完成まで約1時間、子ども達は満足。

当日は、お友達や家族の方々が沢山見に来られ、「小学生の作品、とても良かったよ」「素晴らしかったよ」このような声を聞くと、少しはお手伝いが出来たと嬉しく思いました。

これからの子ども達の成長が楽しみです。

狭山市華道連盟 岡村 陽子

鵬友精巧（株）

治具・検具・装置電極・機械加工

狭山市新狭山2-6-12 : 2952-6666

（株）ミツギ

大自然にいだかれて生き続ける無限の生命

狭山市入間川2-15-24 : 2954-5472